

2日目 7月16日

会 場: 県立浜山球場

第1試合		～1回戦～ (7回コールド)																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
益田東		1	0	0	0	0	3	4									8	15	1
益 田		0	0	0	0	1	0	0									1	6	3
(投手-捕手)																			
・ (益東)		高良→佐々木 - 西脇																	
・ (益田)		上田→宮内→松本侑 - 寺尾																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (益東)														中川					
・ (益田)		渡邊																	
(審判) [球審]		流田			〔一塁〕 藤本邦			〔二塁〕 上手			〔三塁〕 藤本隆								
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(益東)	34	15	4	0	0	1	2	5	3	4	13	0		1	0	0	0	0	
(益田)	24	6	1	1	0	0	6	3	3	0	8	0		3	3	1	0	0	
「益田東、中盤の集中打で益田を下す」																			
<p>前年の独自大会優勝校の益田東が登場した。その益田東は1回表に相手先発上田の立ち上がりを攻め、1番藤本が中安で出塁すると、すかさず盗塁を決めると犠打で3塁に送り、3番前嶋のレフトへの適時打と理想的な形で先制点を挙げた。しかし、その後5回まで3回を除く全ての攻撃で2人以上の走者を出しながら追加点を奪えない展開が続いた。すると益田は5回裏2死から相手の失策で走者を出すと3・4番に連続安打が生まれ同点に追い付いた。</p> <p>しかし、同点で浮き足立ったのか直後の6回表に8番西脇が中安で出塁すると、犠打で2塁へ走者を進めた。ここから益田は暴投や失策が相次ぎ、この回一挙3点を失い再び主導権を益田東が握った。勢いに乗る益田東は続く7回表に先頭中川がレフトへの大会1号となる本塁打を放つ。更に2死から3連打が飛び出すと、足を絡め相手のミス誘うなどし、結局7回終わって7点差をつけコールドゲームで初戦を突破した。</p>																			

